9/31 赤旗

自民・杉田議員が暴論

「国立女性教育会館、費用削減し防衛費に」

大軍拡推進のためなら何でも切り捨てる。そんな恐ろしさを感じます。

自民党の杉田水脈衆院議員は29日に自身のブログで、国立女性教育会館を訪れたことをつづり、「この『女性教育会館』という国立の建物に色々違和感を感じました」「男女の教育格差が解消されている（高校の進学率は女子のほうが高い）日本においては、既に役割を終えていると言わざるをえません」と持論を展開。その上で、「これらの費用を削減して防衛費等に充てることはできないのでしょうか？」などと主張しました。

1977年に設立された同会館は、「わが国唯一の女性教育のナショナルセンター」（第5次男女共同参画基本計画）として知られ、男女共同参画ネットワークの中核を担う施設として機能してきました。SNS上では同会館の役割を理解しない杉田氏の発言に、〝ジェンダー平等に対するバックラッシュ（逆流）だ〟との批判が相次ぎました。

世界経済フォーラムが発表した2023年版の「ジェンダーギャップ指数」で、日本は世界146カ国中125位と最低クラス。前年は他20カ国と並んで首位だった「教育分野」でも、女性の高等教育の就学率の低下などにより、47位に下落しています。

〝男女の教育格差が解消されている〟とは到底言えません。ましてや大軍拡のためにジェンダー平等を攻撃するなどというのは許されない暴論です。

（か）